

平成 27 年 6 月 5 日

協力者 様

## 学習指導改善調査事業 協力者の取組について

県小教研事務局

この度は、県小教研の協力者をお引き受けくださいます、ありがとうございます。協力者の皆様には、「実践計画」→「実践」→「報告」の流れで、一年間取り組んでください。つきましては、下記の内容で、実践計画書、実践報告書の提出をお願いします。

### 1 実践計画書について

- ① 内 容 (フォーマットは HP からダウンロードする。)
  - ・ 氏名, 勤務先, 研究実践の教科, 学年
  - ・ 取組の視点や方向性
  - ・ 大まかな実践の予定

※ 実践を行う学年と教科, 考える力を育てるための指導をどう進めていくか, 今後の取組の視点や方向性をお示してください。
- ② 提出期限 6月30日(火)
- ③ 提出方法 書き込んだデータを添付ファイルで県小教研事務局に送る。  
k-shoken@niigata-inet.or.jp

### 2 実践報告書について

- ① 実践報告書の形式等
  - A4 2枚程度
  - ご記載いただく内容は、以下の通りです。

<p><b>ア 目指した子どもの姿</b> その教科, もしくはその単元においてどのような「考える力」を育てようとしているかを書く。「考える」内容が具体的であるほど, わかりやすくなる。</p> <p><b>イ 具体的な手立てと子どもの変容</b> 事実をもとにお示してください。写真やワークシートなどの記録をお使いいただくと, 見やすくわかりやすいためになります。</p>
---

※一年間で何回実践をしても結構です。
- ② 参考資料
  - 昨年度の報告書 (県小教研 HP)  
<http://www.niigata-inet.or.jp/k-shoken/newpage/tesuto25.html>
  - 「校内研修の手引き」 (HP, 『すこら e』にて掲載)
- ③ 提出期限 2月27日(金)
- ④ 提出方法 書き込んだデータを添付ファイルで県小教研事務局に送る。  
k-shoken@niigata-inet.or.jp

### 3 実践の内容について

- 「校内研修の手引き」に掲載している内容の実践を行うという訳ではありません。「研修の手引き」を参考に、「自分ならこうする」という新しいアイデアをお示しいただくことも有効です。
- 一部の協力者の方には、研究機関誌「すこら e 第 7 号」の原稿執筆を依頼することがあります。ご協力をお願いします。
- 子どもの写真やノートを使う場合、ホームページで公開することから、本人と保護者からの応諾が必要になります。